

# 元宮城県警察本部長による防災講演会の開催

～災害警備について思うこと・東日本大震災を経験して～

東北管区警察局では、防災週間に合わせて防災講演会を開催しました。

**講師** 竹内 直人 氏  
(東日本大震災当時の宮城県警察本部長)

## 開催の目的

東日本大震災から10年が経過し震災の風化防止と職員の防災意識向上

## 聴講者

当局職員のほか、管区内各県警察職員約180人がリモート等で聴講



—講演する竹内氏—

## 講演の内容・聴講者の感想

- 竹内氏は、震災当時、多くの警察職員が大津波の危険性を十分に認識しないまま避難誘導等をした結果、宮城県において14名もの警察官が殉職した事案や発災直後に被災情報が混乱したことなどを例に挙げ、平時からの意識付け及び被害への備えが重要ではないかと呼びかけました。
- 震災後に採用された当局職員からは、「震災時に情報通信部職員が警察活動を支えたことを聴き、改めて自分の仕事に誇りを持つことができた。」「有事には、すぐに行動に移せるよう、平時から想像と準備をしておくことが大切であると認識した。」などの感想が寄せられました。



—講演会場の様子—

## 講師について

竹内氏は、東北管区警察局長、警察大学校長などを歴任され、退官後は「警察謝恩伝道士」と称して震災の教訓を伝える活動を続けています。